

第1学年 国語科学習指導案

本単元における「読むこと」の指導内容

○時間的な順序、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を読むこと（イ）

児童 男子8名女子1名計9名

指導者 住田 真由美

1 単元名 くらべて よもう
教材名 「じどう車くらべ」

2 単元について

(1) 児童の実態

子どもたちは、これまで読むことの学習として、「うたに あわせて あいうえお」で語のまとまりや言葉の響きに気をつけながら声に出して読む学習をし、調子よい言葉のリズムを楽しみながら音読に親しんだ。初めての説明文教材「いろいろな くちばし」の学習では、問いと答えの文を確かめながら、鳥のくちばしの形とえさの取り方との関係を読み取る学習をしてきた。また、「おむすび ころりん」では、よく知っている昔話の場面の様子を想像して、言葉の響きやリズムを楽しみながら、役割分担しながら、声に出して読む活動をしてきた。入学して初めて出会う教材の中で、声を出して音読する楽しさ、場面を想像して読む楽しさ、知ることの楽しさなどを感じながら学習してきた。

一人学びについては、語のまとまりに気をつけながら文節ごとに読む活動、大切な言葉を教科書から見つけ、サイドラインを引き、学習プリントに書き抜く活動を行ってきた。また、絵に合うように考えながら、主語・述語の文を作る学習もしている。

日常活動では、帰りの会で、今日一日の中で自分が特にながらがんばったことを発表している。その際、話型に気をつけ、①がんばったこと②そのわけ③次にがんばりたいことの3点を発表するようにしている。どの子も積極的に発表している。また、毎日音読を家庭学習で取り組んでいる。口の開け方、声の大きさ、すらすらと読むの3点に気をつけながら音読している。本の読み聞かせも大好きで、集中して聞いている。図書室の本、移動図書の本も、進んで借りて読んでいる子が多い。家の人と一緒に読んだり、簡単な本は自分で読むことに挑戦したりしながら、読書に親しんでいる。

これらの学習を通して、文節に気をつけながら音読したり、想像して読んだりすることができるようになってきている。さらに、主語・述語、問いや答えの関係に気をつけながら、文章の内容を読み取っていきけるようにしていきたい。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。」ことである。

本教材「じどう車くらべ」は、自動車の種類ごとに「しごと」と「つくり」が説明されており、児童は「しごと」と「つくり」の文章構成の順序性に気づきながら、読むことができる。また、この時期の子どもたちの興味・関心のある自動車を題材に取り上げた教材であり、児童は楽しみながら読み進めることができる。内容を読み取る際は、問いと答えを対応させながら読む活動を行い、自動車の「しごと」と「つくり」について書かれている事柄の順序に気づき内容の大体を読み取る活動を行うことができる教材である。よって、本教材は、第1学年及び第2学年の「読むこと」の指導内容（イ）に適した教材であり、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み取る活動を通して、確かに読み取る力を育成することができる。と考える。

(3) 指導に当たって

本教材では、指導要領「読むこと」(イ)《時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体をつかむ》力を育成するために次のことに気をつけて指導していきたい。

- ① 事柄の順序を考えながら内容の大体をつかむために、自動車の「しごと」と「つくり」について、説明している文を押さえ、順序性を意識した読み取りをする。
- ② 「そのために」という言葉を手がかりとして重要語句を見つけ、自動車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取る活動を行う。
- ③ 一人学びでは、この文章の問いである自動車の「しごと」と「つくり」に対する答えの部分を見つける活動を行う。前時までにバス・乗用車、トラックの「しごと」と「つくり」についてそれぞれ学習してきている。既習事項の問いに対する答えの部分の見つけ方を生かし、手がかりになる言葉「そのために」や「しごと」と「つくり」の順序性を考えながら、一人学びを行う。

5 本時の指導

(1) 目標

- ㊦ クレーン車の仕事と作りについて興味を持ち、楽しんで読み進めようとする。
- ㊧ クレーン車の仕事と作りの関係を結びつけながら内容の大体を読み取ることができる。

(2) 展開 (4/8)

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ㊦㊧評価
つかむ 5分	1 前時を振り返る。 2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> クレーン車は、どんなしごとをしていますか。 そのために、どんなつくりになっていますか。 </div> 3 学習範囲を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・トラックの絵を見ながら、仕事と作りについて確認する。 ・問題文を大切に今日の課題を把握し、本時も仕事と作りについて考えていくことを確認する。 ・片仮名は初めてなので「クレーン車」は一緒に書く。 ・問いに対する答えの文がどこにあるか考えながら一斉読みする。 ・㊦クレーン車の仕事と作りについて読み取ろうとしているか。(観察)
ふかめる 35分	4 一人学びの見通しを持つ。 ・前時まで学習したバスや乗用車、トラックの学習を想起し、仕事と作りの順序を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> クレーン車の仕事と作りがわかる文にサイドラインを引き(教科書)、学習プリントに視写する。 </div> 5 課題解決のために学び合う。 ・クレーン車の仕事について理解を深める。 ・クレーン車の作りについて理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・手がかりになる語句「仕事」「そのために」「作って」「ついで」をもとにクレーン車の仕事と作りを見つけ、いくことを確認する。 ・重要語句《重い物をつり上げる》《丈夫な腕》《しっかりした足》を見つけ、仕事と作りをとらえさせる。 ・「つりあげる」とは、どういうことなのかを挿絵のクレーンを見ながら確かめる。 ・「うで」「あし」が、どの部分なのかを挿絵のクレーンと下の支えの部分を見ながら、その使い方を考え、仕事と結びつけて理解を深めさせる。 ㊧クレーン車の仕事と作りの関係を結びつけながら、読み取ることができたか。(発表、学習プリント) ・教師が児童にインタビューし、クレーン車の仕事と作りについて発表する。 ・今日の課題と対応させながら、クレーン車の仕事と作りについてのまとめをし、問題文に対する答えであることを確かめる。
まとめる 5分	8 学習内容を振り返りながら、音読する。 9 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめながら、役割読みをする。 ・次時のはしご車についても今日の学習を生かして「しごと」と「つくり」についてまとめていくことを知らせる。

(3) 評価

評価規準	具体的評価規準		
	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
クレーン車の仕事と作りについて書いてある文を見つけ、その内容について読み取っている。	クレーン車の仕事と作りが書いてある文を見つけ、「重い物をつり上げる」「丈夫な腕」「しっかりした足」という言葉を使いながら、自分なりの言葉でその関係をまとめている。	クレーン車の仕事と作りが書いてある文を見つけ、「重い物をつり上げる」「丈夫な腕」「しっかりした足」という言葉を使い、その関係をまとめている。	クレーン車の仕事と作りが書いてある部分を確認し、教師と一緒に読みながら、仕事と作りを見つける。

じじじ車くらぶ

クレーン車は、どんなしごとをしていますか。
そのために、どんなつくりになっていますか。

クレーン車の絵

しごと

おもいものをつりあげる
しごとをしています。

←
そのために
つくり

じょうぶなうでが、
のびたり うごいたり
するように、
つくってあります。

車たいが かたむかないように、
しっかりしたあしが、
ついています。

まとめ

クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとを
しています。
そのために、じょうぶなうでが、のびたりうごい
たりするように、つくってあります。 しっかりした
あしが、ついています。